



宝永小だより

No.5

福井市宝永小学校
令和6年6月4日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にできる子

1・2年生 仲良く交流 5月15日(水)



＜「だるまさんがころんだ」の様子＞

ペアになる1・2年生の顔合わせを兼ねて、「なかよくしよう会」を開催しました。2年生の子どもたちが、この会を企画・進行しました。2年生の子どもたちにとっては、上級生になって初めての体験でした。緊張しながらも、覚えた台詞を言ったり、役割を果たしたりしていました。2年生の子どもたちが企画した「だるまさんがころんだ」と「ふえおに」でも、楽しく交流することができました。1・2年生で活動することは、今後たくさんあります。そのためにも、よいスタートを切ることができました。

＜2年児童の感想＞きょう、「なかよくしようかい」で一ばんたのしかったところは、みんなであそんだところ。とくにたのしかったのは、「だるまさんがころんだ」です。せりふも大きなこえでいえたのがよかったです。

＜2年児童の感想＞1年生のみんなが、メダルをつくったのをよこんでくれたのが、うれしかったです。みんなで、1年生のためにあそびをきめて、たのしそうにあそんでくれたのがうれしかったです。

にこフレ班での交流「1年生を迎える会」 5月16日

まず、2年生の子どもたちが1年生の子どもたちをエスコートして、体育館へ入場しました。企画・生活委員の「初めの言葉」の後、右記の「児童会の歌」を元気よく歌いました。そして、1年生の自己紹介では、自分の名前と好きな物を大きな声で発表するのに合わせて、ペアの2年生が名前と好きな物の絵を描いたうちわを掲げました。その後、2～6年生が「やあ」の歌をプレゼントしました。ゲームでは、企画・生活委員が示す2場面を比較して「間違い探し」をし、「にこフレ班」で相談して答えを出していました。感想交流後、企画・生活委員の「終わりの言葉」で、温かい雰囲気の中、終了しました。

児童会の歌
「宝がいつぱい夢いっぱい」
①元気がいっぱい
ぼくらの宝永っ子
仲良く外へ飛び出そう
楽しいみんなの声がある
友情の輪を 広げよう
夢がいつぱい 宝永小
②にこフレ
笑顔の宝永っ子
愉快な友だち 集まれば
明るいみんなの音がする
協力し合える いい仲間
宝永小

このような「にこフレ班」での活動を通して、異学年でも仲良く楽しく学校生活を送ってほしいと思います。「にこフレ活動」を充実することで、思いやりの心を育み、温かい人間関係のある集団づくりを目指します。また、お互いの名前前で呼び合う関係性を築いていきたいと考えています。参観して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

＜1年児童の感想＞

「自己紹介」について
・どきどきして、はずかしかった。
・きんちょうしたけど、いえてよかった。
・おおきなこえをだしたら、すっきりした。
・うれしかった。
「間違い探し」について
・ぜんもんせいかいできて、うれしかった。
・まちがえて、くやしかった。
・たのしかった。



＜1年生の自己紹介の様子＞

＜2年児童の感想＞前に出るのがはずかしかったけど、うちわを上を上げることができて、うれしかったです。れんしゅうのとき、できなかったけど、じょうずにできるようになって、うれしかったです。1年生の声が大きいところが、すごいと思いました。1年生をならばせるところがたいへんでした。「まちがいさがし」がむずかしかったけど、ぜんもんせいかいできて、うれしかったです。

＜3年児童の感想＞1年生の名前をたくさん知れたし、1年生と楽しくゲームをすることができて、うれしかったです。これからも、1年生とたくさんあそびたいです。1年生が、2年生と入場するとき、ふつうに入場するのがすごいと思いました。ぼくが1年生のときは、どきどきしていたのに、今日の1年生は、ふつうに入場できていて、すごいと思いました。

＜5年児童の感想＞今日の「1年生をむかえる会」で、企画・生活委員会の活動として、「まちがいさがし」をやることになりました。初めて、全校の前で「まちがいさがし」をやるので、きんちょうしてしまいましたが、楽しみでもありました。ステージの上に立つと足もふるえていたけれど、なんとかやってみせることができました。全校のみんなが楽しんでくれて、大成功でした。ぼくも、ステージの上に立って、「まちがいさがし」をやるのは貴重な経験だと思うので、良かったです。

＜4年児童の感想＞今日、「1年生をむかえる会」で、にこフレ教室に集まったときに、「立つよ。」「すわるよ。」の声かけが、やさしく1年生や2年生にできました。1年生の自己紹介では、1年生が大きな声でしていたので、とても聞きやすかったし、ほとんどの1年生の名前をおぼえられたので、とてもよかったです。

＜6年児童の感想＞1年生の自己紹介は、みんな大きな声を出せていたし、2年生も、名前と絵の面の切り替えが丁度良いタイミングでできていて、すごいと思いました。「まちがいさがし」では、2～6年生も、「ここが違う。」とか、「ここが変わりそう。」などと会話をしながら楽しめました。初めは、1年生もきん張していたけれど、最後は、2～6年生の中に入って、いろいろとお話ができるようになって、よかったです。

6年生 税金について学ぶ 5月17日(金)

福井税務署の方に来ていた

だいて、「租税教室」を実施しました。社会科で学んでいる「税」について、税金の種類や税金が何に使われているかを専門家から学びました。

「税金がある町とない町を比べてみよう!」の場面では、ワークシートに描かれた「税金のある暮らし」と「税金のない暮らし」の絵を比較することで、税が自分たちの生活に、どのように役立っているかを考えることができました。そして、税金は、自分たちが安心して豊かに暮らすために、身近なところで使われていることを知りました。自分たちが平等に教育を受けられるように、国や地方が負担する年間教育費(令和2年度)は、小学生一人当たり約975,000円だそうです。子どもたちは、その金額の大きさに驚いていました。さらに、北陸新幹線や中部縦貫自動車道の建設工事、福井県立恐竜博物館、除雪にも、税金が使われていることを知り、子どもたちの税金についての関心が、より高まったようです。



<「税金」って何だろう?>

<6年児童の感想>税金の使われ方が分かってよかったです。税金は、道路を直したり、いろいろなところで使われていることが分かりました。日本は税金が10%で高いと思っていたけど、ハンガリーは27%だと知って、日本は安いと思いました。税金はいらないと思ったけれど、とても大事でした。税金をはらう意味が分かりました。税金がなかったら、公共施設などが使えなくなったりするので、税金は大切だと思いました。

<6年児童の感想>私は、税金は私たちの町を良くする大切なお金だということや、税金で作られたものは身近にあるということが分かりました。また、日本は税金の種類が50種類あり、消費税は10%で、軽減税8%とおっしゃっていました。これを聞いたときに、私は、「税はそんなに細かく決められていたのか。」と少しおどろきました。税金のある暮らしとない暮らしで、そんなに差はないと今まで思っていたけれど、これからは税のおかげで町が成り立っていると思って、しっかり税をはらいたいです。

1年生 「よろしくお願ひします。」 5月20日(月)

大休みに、「校長先生、いるかな?」「入ってもいいかな?」と、校長室の扉の外で、子どもたちの声が聞こえました。

生活科の「せんせいとなかよくなるよう だいさくせん」の学習で、1年生の子どもたちが来ることを担任から知らされていたので、どうやって入ってくるか、楽しみに待っていました。すると、ノックをしてから扉を開け、「失礼します。」と挨拶をして、子どもたちが入ってきました。そして、一人ずつ、「せんせい、いま、よろしいですか。わたしは、〇〇 〇〇です。すきなものは◇◇です。」と上手に自己紹介をしてくれました。そして、「せんせいのすきな□□は、なんですか。」と尋ねてくれました。とても緊張していたようですが、「△△です。よろしく。」と声をかけると、うれしそうに頷いたり、質問に答えたりしていました。さらに、「サインをください。」と探検バックに挟んであるワークシートと鉛筆を差し出しました。最後に、「ありがとうございました。」と言って、出て行きました。



<サインをもらう1年生>

子どもたちは、職員室でも、お目当ての先生を探し、上手に自己紹介ができていました。入学してから様々な活動を通して多くのことを学び、日々、頑張っている1年生の子どもたちを見てみると、今後の成長が楽しみです。

緊急時の引き渡し 5月20日(月)

大きな地震の発生後に、子どもたちが校庭で

保護者の皆様を待っているという想定で、引き渡し訓練を実施しました。緊急メールで引き渡し開始の連絡を受信後、保護者の皆様には、徒歩でご来校いただきました。保護者の皆様のおかげで、速やかに引き渡しができました。ご協力、ありがとうございました。今後、大規模災害等の不測の事態が起きても、保護者の皆様への引き渡しを円滑・安全・確実に成し遂げます。



<引き渡しカードにサインをして完了>

先輩が来校し、あいさつ運動 5月23日(木)・24日(金)

進明中学校区(進明中、宝永・松本・啓蒙

小)の「小中合同あいさつ運動」を行いました。進明中学校の生徒が母校の小学校に出向いて、登校時のあいさつ運動に参加する取組です。

今回は、進明中学校の生活委員の生徒と有志が集まってくれたそうです。初日には、本校を卒業した中学2・3年生 24名が、2日目には、中学1年生 17名が、本校の児童玄関前で、集団登校で登校してきた子どもたちとあいさつを交わしてくれました。後輩たちを見つめ、大きな声で、お手本となるようなあいさつを交わしてくれる中学生の先輩たちの姿は、凛々しい限りでした。本校に何年も勤務している教員は、久しぶりに再会した中学生の心身共に立派に成長した姿に感動していました。中学生の皆さん、ありがとうございました。



<目を見て、元気よく、笑顔であいさつ>

*6月23日(日)に、宝永地区防災訓練が開催されます。子どもたちが自宅や地域で過ごすときの避難方法等については、ご家族の皆様と話すだけでなく、このような訓練を学びの機会にして、ご確認いただけたら幸いです。校内の1回目の避難訓練は、6月25日(火)に実施します。

*中学校の休日部活動の地域移行について、福井市では、「令和7年度末をもって休日の部活動は行わない」とする方針を決定しました。ただし、中学校の実情に応じて、令和8年度の新チーム開始時までには、各中学校に判断を委ねることとなりました。この件に関しては、現在の小学生も関係してきます。これらの部活動の地域移行に関する情報や中学生の地域クラブ活動参加に向けた取組の進捗状況等は、福井市より、「ドリーム通信」Vol.1~Vol.3 がアップされています。是非、ご覧ください。